

山口村長、中津川市長からの知事への申し入れ（11:40～ 1階知事室）

中津川市長：その後の手続きについて、お願いに来ました。是非申請をお願いします。

知事：今朝、議長、委員長と話しをしました。反省点としてですが、本質的な内容より入り口論で滞った面があります。

手続論は民主主義の大切な要素であります。公文書で3点について記載されたものを頂戴したいと申し上げたところ、荒木総括審議官からの文書を拝見しました。議会で議決し決定したことに対し、知事が提出義務を負うことについて異議がある場合、議長から「それは総務省の問題でもあり、総務省もその責を負う。」旨の発言がありました。

今後も長野県民であり続けたい人々に対し、心配りが必要です。総務部長とも話していますので議会としてもご提案をと申し上げました。それに対し、議長は「知事が判断してくれないと示せない。」旨のお話ありましたが、議会としても配慮をお知らせいただきたいと申し上げました。

麻生総務大臣が、この問題に関し、今回の問題は第1歩である旨の発言をしていたのが気がかりです。現行都道府県は分割、消滅するととれます。

他地域で同様のことが起こったときに、議会も市町村住民の多数の意見を機関説として届けることになるが如何かとの問いに対し、議長は今後考えることと言いましたが、行政の整合性として山口村に対し失礼になると申し上げました。

「信濃の国」を歌いたいと言う人への何らかのケアを少し考えています。そのプランを含めて考えなければなりません。いたずらに延ばす気はありません。

中津川市長：議会総務委員会に出席を求められ、その際も今のことについて質問ありました。未来志向、多様性の中の統一ということや、分権的に地域総合事務所を置き、中津川市の部長経験者をもっていきたい。また地域審議会を地元でつくり神坂、山口地域にまちづくり協議会を設置し今後のあり方について方向性を相談しながらやっていきたいと考えています。審議会には旧町村で村づくりに取り組んだ人に関わってほしいと考え村長とも相談して参りたい。

山口村長：今でも年内に申請出してもらおうと信じています。このまま年を越すのは村民にとっても大変なことになります。新年は新しい気持ちで迎えたいと思います。ケアの問題は大事です。すぐにもまちづくり協議会を立ち上げたいと考えています。

反対者もいましたが、そういうものを一切捨てて、気持ちを一つにして地域づくりに取り組んでいきます。

長野県には本当にお世話になってきたことに感謝し、ご恩は忘れません。信州人の誇りを、ずっと村民皆で持ち続け、木曾文化を後世に伝えていきます。

年内に申請を是非していただき、村民の苦しい気持ちを解消していただきたい。そうすることにより、知事の思いが村民に伝わります。

知事：議決に喜びの涙を流した人と、悲しみの涙を流した人もいます。内部でも検討し、今日議会にも提案し、二つの涙にきちんと対応できるようにしたいと考えます。

村長さんは、村議会で年明けの手術でも可能と発言し、これはマスコミにも取り上げられています。この発言で左右されるわけではありませんが、いたずらに延ばすことなく真摯に対応するよう努力します。

村長：年内の申請をお願いします。気持ちよく新年を迎えたいです。村民の中で賛成反対あるのは事実ですが、私の責任で新しい方向にいけるように、知事にも約束します。